

科目	現代の国語	学年・類型	1年・普通科、国際文理科	単位数	2
教科書	高等学校 精選 現代の国語（第一学習社）				
副教材等	上級入試漢字・語彙（桐原書房）				
学習目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学習心得	1 辞書等を使い、予習を行って授業に臨む。 2 文章の言葉を正確に捉え、伝えようとする内容を把握できるようにする。 3 文章を読んで、自分の考えと比較対照する。 4 言葉を使って、自分の考えを表現しようとする。				
	単元	主な学習活動			
一学期	1 ものの見方 『「生きもの」として生きる』	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。			
	2 比較文化 『水の東西』	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。			
	3 日本文化 『無彩の色』	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。			
	4 言語 『ものことば』	・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。			
二学期	5 科学・技術 『「文化」としての科学』	・例示や言い換えなどの修辞を理解する。			
	6 情報・メディア 『現代の「世論操作」』	・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。			
	7 社会・政治 『フェアな競争』	・文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりする。			
	8 書いて伝える 「社会に対する意見文を書く」	・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。			
三学期	9 時間と近代 『不均等な時間』	・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。			
	10 環境問題 『ロビンソンの人間と自然』	・論理的な文章を読み、論理の展開、情報の量や重要度などを考え、構成や展開を工夫しながら論述する。			
		・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めるとともに、文章を読んで情報を整理し、自分の考えを広げたり深めたりする。			

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習プリント等の記述 ・小テスト
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力や創造的に考える力、伝え合う力を高めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・レポートの記述 ・学習プリント等の記述
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている、	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ルーブリック ・授業ノートの記述